県民だより兵庫
GOKOKU
2026
11
神戸版
兵庫県広報紙

ガザミの甲羅の『とるな』は全ての魚介を守るしるし



県内の漁業者などで構成する「ガザミふやそう会」では、播磨灘のガザミ（ワタリガニ）を増やすため、抱卵ガザミが産卵を終えるまで保護する取り組みを40年間続けています。5月から9月にかけて漁獲された抱卵ガザミを当会が買い上げ、甲羅に「とるな」と書いて海に放流。海中で産卵を終えて脱皮し、「とるな」の文字が消えたガザミは漁獲対象に戻るというものです。ガザミ漁獲量、抱卵ガザミ保護数は共に年々減少しており、ガザミ資源回復の取り組みは必須の状況です。今年からは愛知県の蒲郡漁業協同組合に倣い、沖合のいけすで確実にふ化させてから放流する方法を試験的に始めています。ガザミを守ることは豊かな海を取り戻し、全ての魚介を守ることにつながります。これからも漁業関係者みんなで力を合わせていきます。
（ガザミふやそう会会長 小嶋隆次さん）

問ガザミふやそう会事務局（兵庫県漁業協同組合連合会）
078-940-8013 F078-917-3811

詳しくはこちら